

【地学基礎】

＜学習内容について＞

自然環境に関する科目であり、理科の中でもたいへん日常生活に関連が深い科目です。学習内容は、時間的には地球誕生から現在まで、空間的には地球の中心から宇宙の果てまでとなります。具体的には、地球のプレート、火山や地震、台風・集中豪雨などの気象現象（その仕組みを理解することで、自然災害に対し、正しく対処でき、被害を最小限にすることができる。）、宇宙の構造と進化、太陽系、生命の誕生・進化した過程、日本の自然環境と恵み、人間活動による自然環境の変化（オゾンホール、温暖化、プラスチックと海洋汚染など）、再生可能エネルギーなどです。

＜教材について＞

教科書：『改訂 地学基礎』（東京書籍）

＜レポートについて＞

〔前期〕

- 第1回：地球の形と大きさ、構造、内部の動き、プレート、大地形の形成と地質構造
- 第2回：地震の発生、日本列島付近の地震、地震による災害と防災、火山噴火の多様性
- 第3回：火山噴火の形、分布、マグマの発生、火山による災害と防災、火成岩、変成岩
- 第4回：大気の大気層構造、対流圏で起こる現象、雲の種類
- 第5回：地球の熱収支、大気の大循環、海洋の構造、海洋の表層循環と深層循環
- 第6回：大気と海洋の相互作用、日本付近の天気、季節の特徴と気象災害

〔後期〕

- 第1回：宇宙の観測方法、宇宙の誕生と進化、天の川銀河、太陽の誕生、太陽の特徴
- 第2回：太陽系の範囲、太陽系の誕生、太陽系の構成、地球の特徴、太陽系天体探査
- 第3回：地層の形成、地層からわかる情報、地球史の最初期、先カンブリア時代
- 第4回：古生代、中生代、恐竜の姿と生活
- 第5回：新生代、人類の進化、地球環境の変化による生物の変遷
- 第6回：日本の自然環境の特徴、自然の恵みと防災、地球システム、人間活動による自然環境の変化、これからの地球環境

＜学習の進め方について＞

レポートは教科書を参考にすれば完成できますが、レポートの完成が難しい場合は、直接質問してください。

提出されたレポートに空欄がある場合や問いの意図とかけ離れた解答がなされている場合は、原則的に再提出となります。

＜スクーリングについて＞

前期9時間、後期9時間の出席が必要です。協力校も含めると、年間58時間開講しています。教科書・筆記用具などを持参し、時間数不足にならないよう計画的にスクーリングに出席しましょう。

上記学習内容を、主に視聴覚教材（ビデオ教材）などを活用して学習します。また、提出期限の迫っているレポートの解説もします。

＜評価について＞

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して 100 点法で行い、30 点以上を合格とする。

〔知識・技能〕

日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。

〔思考・判断・表現〕

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。

〔主体的に学習に取り組む態度〕

地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているとともに、自然環境の保全に寄与している。